

令和元年度 基本事業評価シート（平成30年度実績評価）

政策 03 こころ豊かに暮らせるまち
施策 01 学校教育の充実
基本事業 01 確かな学力の育成
主管課： 指導室
関係課： 学校教育課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
児童生徒	児童生徒に、基礎的、基本的な知識及び技能を習得させる。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

全国学力状況調査で全国平均正答率を上回っている教科（調査問題）の割合（小6対象）（％）指導室					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成27年度以降、目標値を達成しています。 （原因）学習支援ティーチャーや少人数加配教員の配置により、小学校入学時から学習・生活習慣の確立が図られ、個に応じたきめ細やかな指導ができたことが大きな要因です。さらに、守谷市保幼小中高一貫教育「学びのプラン」の「学習スキル」を授業に位置付け、言語活動の充実が図られたことも正答率の向上につながりました。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

全国学力状況調査で全国平均正答率を上回っている教科（調査問題）の割合（中3対象）（％）指導室					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成27年度以降、目標値を達成しています。 （原因）学習支援ティーチャーや少人数加配教員の配置等による個に応じた指導の充実、授業の改善、さらに放課後や長期休業中を利用した補充学習の成果があらわれています。さらに、守谷市保幼小中高一貫教育「学びのプラン」の「学習スキル」を授業に位置付け、言語活動の充実が図られたことも正答率の向上につながりました。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	高				
次年度課題	課題としない				

学校の授業が楽しく、勉強がわかると感じている児童生徒の割合（％）指導室					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
66.20	70.00	72.00	72.00	72.00	70.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成27年度以降、目標値を達成しています。 （原因）数値的には2%減ですが、学習支援ティーチャーや少人数加配教員等の配置により、きめ細やかな学習指導していることで、学習面で自信をもち、授業が楽しいと感じる児童生徒数は基準値より上回っています。また放課後や長期休業に各校で取り組んでいる補充学習の成果が、市内全体の学力の伸びにあらわれています。保幼小中高一貫教育により、児童生徒が学びの連続性や自身の伸びを実感していることも肯定的な回答に結びついていると考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H28年度 決 算	H29年度 決 算	H30年度 決 算	R01年度 予 算	R02年度 見 込
事業費合計	29,410	72,244	80,748	82,540	81,925
人件費	2,402	3,706	4,581	0	0
トータルコスト	31,812	75,950	85,329	82,540	81,925

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

学習支援ティーチャーや少人数加配教員等の配置により、きめ細やかな学習指導ができたこと、放課後や長期休業に各校で取り組んでいる補充学習の成果が、児童生徒の学習面での自信につながり、授業が楽しいと感じるという肯定的な回答に結びついています。平成30年度は、目標値を達成しています。各種の訪問指導を通して、分かる授業づくりを推進していきます。そのためには、児童生徒一人ひとりの学びに対応できるように、少人数指導の充実を図ります。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題なし
	成果方向性	維持
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]